

理科 分散登校中の学習内容【6月1日(月)から6月30日(火)】

6年生の家庭学習の課題です。調べるための簡単な参考資料を紹介していますが、本やインターネットなど可能な範囲で、各自が資料を見つけて詳しく調べられるといいと思います。

！これからは、ノート例を参考に、学校で配られた理科のノートに記入します。

ノートの書き方について

★「ノートは、後で自分が説明できるようにするためのもの」

＝自分で説明できるということは、身についているということです。

★「理科のノート」に記入します。理科のノートは、研究成果の記録、足跡、証拠、根拠となる大切なデータ資料です。説明の通りにノートに記入します。初めに見通しをもって、書くようにします。学習問題をページの初めに書き、ページも終わりかまたは、見開き2ページ目の終わりに結論が来るようにコントロールして書けるようにします。新しい内容になった時、ページの途中から始めることになっても、新しいページに変えたり、隙間をあけたりしないで、つめて書くようにして、次は区切りよく終わるように心がけるようにして、トレーニングします。詳しくは、学校での授業の時に説明します。

※5年生の時と同様です。

奇跡の星「地球」の環境は、何億年もの間、循環し守られてきました。しかし人間の活動とともに少しずつ変化しています。人間や動物は、生きているだけで、地球上の水や空気など様々なものを取り入れています。人間が生きてく上で、どのようなものを取り入れ、取り入れたものを排出しているのか？人の体の仕組みを調べます。

ここでの学習は、人の体を研究するための準備となります。

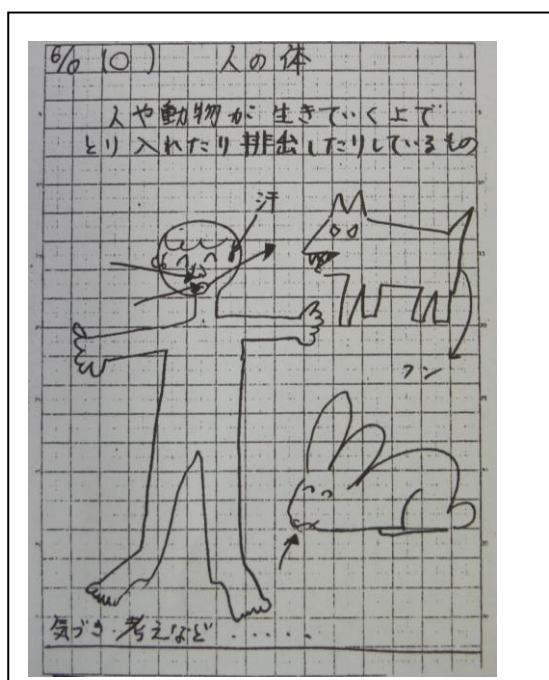
家庭学習 10時間目 「人の体」

課題15 ① ノート例1を参考にして、人や動物が取り入れ、取り出しているものをイメージ図で表しましょう。

参考:教科書 28・29・30 ページ

② ①をみて考えたことを書いておきましょう。

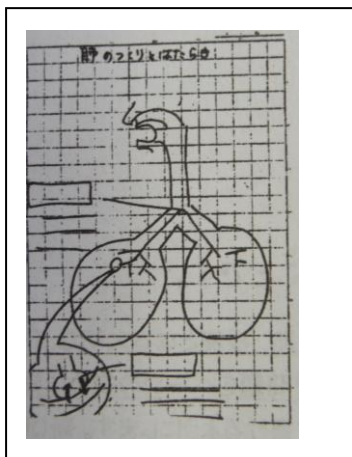
ノート例1



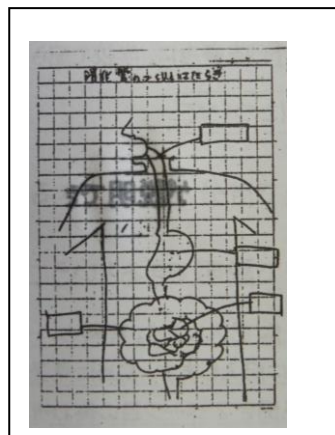
課題16 「肺のつくりとはたらき」

口や鼻から吸い込まれ、口や鼻から排出される空気はどのような通り道を通るのでしょうか。口から気管支そして肺のつくりを ノート例2を参考にして図に描き、教科書36・37ページを調べ、各部の名称と働きをノートに整理しましょう。各部分の名前を覚えましょう。

ノート例2



ノート例3



家庭学習11時間目

課題17 「食べ物の通り道」

食べ物は、口から肛門までの1本の長い管を通り抜けていきます。この管を「消化管」といいます。

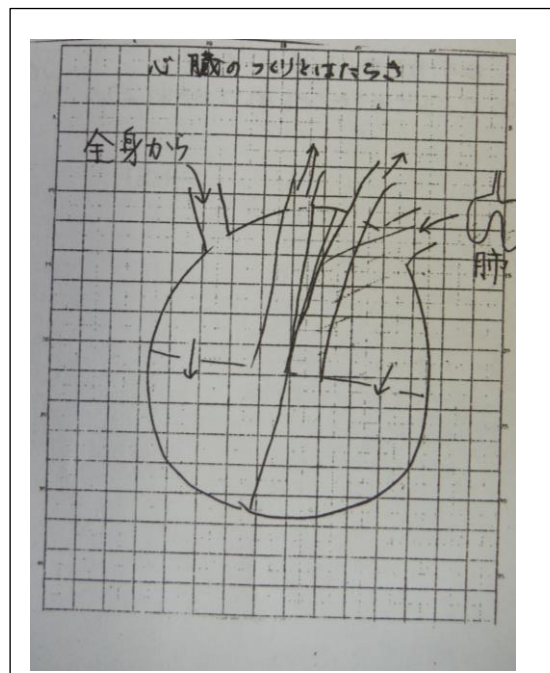
ノート例3を参考にして消化管の図を描き、教科書41・42・43ページなどを調べ、消化管の各部の名称と働きをノートに整理しましょう。各部分の名前を覚えましょう。

家庭学習12時間目

課題18 「心臓のつくりと働き」

ノート例4を参考にして、心臓のイメージ図を描き、教科書46・47ページなどを調べ各部の名称と働きを書きましょう。各部分の名前を覚えましょう。※酸素を取り入れた血液が通るところを赤で、酸素を渡した後の血液が通るところを青で色分けしましょう。

ノート例4

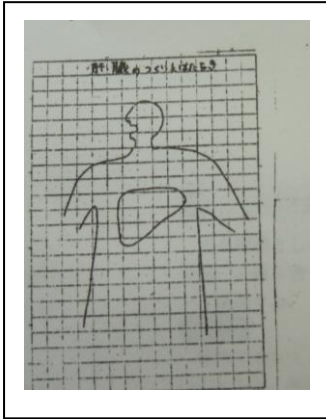


家庭学習 13 時間目

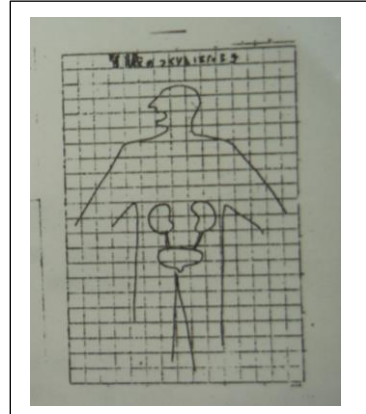
課題19 「肝心かなめの器官」

- ① ノート例5を参考にして、肝臓のイメージ図を描き、教科書44ページなどを調べ体の位置と働きを書きましよう。各部分の名前を覚えましよう。
- ② ノート例6を参考にして、腎臓のイメージ図を描き、教科書47ページなどを調べ各部の名称と働きを描きましよう。各部分の名前を覚えましよう。

ノート例5



ノート例6



家庭学習 14時間目

ペーパークラフト実物大消化管を作りましよう。

用意するもの: のり・はさみ・色鉛筆

口から食道1枚→胃1枚→小腸2枚(16本)
→大腸1枚(4本)を切り取ってつなげます。

時間があれば、色を塗りましよう。

色は、P=茶色 T=茶 B=青 R=赤

